

# Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ  
弘前市北横町19-1 Tel 0172-37-6016(代)  
発行：編集委員会 印刷：小野印刷所  
■新年号(12月1月合併)

# 賀正

二〇一六年

## 新年のご挨拶

代表取締役 石川 隆之



あけましておめでとうござい  
ます。本年も昨年  
同様よろしくお  
願い致します。

昨年は安倍閣

連法案が強行採決されるという歴史的な  
年となりました。この法案自体が憲法違  
反である可能性が極めて高いことや民意  
を無視し民主主義を数の力でゆがめてし  
まった自公連立政権の国会運営の仕方、  
安倍総理が立憲主義を理解できていない  
ことなどの問題は法案が採決されたこと  
で消えたわけではありません。引き続  
き廃止に向けての運動が必要となります。  
また、安倍自公連立政権は新基準をク  
リアしたとして川内原発を皮切りに次々  
と原発を再稼働させる方針のようです。  
福島教訓や民意などまったく無視した  
形での稼働です。私たちはこの問題にも  
声を上げ続けていきます。

そのうえ安倍自公連立政権は内閣改造  
を機に「新三本の矢」と称して、到底実  
現不可能な政策を掲げてきました。そも  
そも前に掲げた「三本の矢」自体が失敗  
する運命にあったと言えるのではないで  
しょうか。いたずらに株価を吊り上げて  
大企業や一部投資家が得をするという構  
造です。本当に困っている人の視点でな  
いのは明らかです。結果的に益々、格差  
を広げただけでした。さらには、個人消  
費が伸び悩んでいるため思ったほどの経  
済成長も出来ていません。医療・介護を  
始めとする社会保障分野に於いても来  
年度の診療報酬改定の方向性を見ても明  
かなように容赦ない切り捨て・改悪が進  
行中です。このような具体的な施策を客  
観的にみるにつけ、「安心につながる社

会保障」、「介護離職ゼロ」などとよく言  
えたものです。「夢を紡ぐ子育て支援」、  
「出生率1.8」にしてもそうです。根  
底にある格差と貧困の問題や労働環境の  
問題等を解決しないかぎり到底無理な話  
です。これも単なる人気取りの空論と言  
わざるを得ません。このような政府責任  
の放棄に伴い、地方自治体の役割が重要  
性を増しています。

当社では自治体が真に困った患者さん  
の視点に立っていただけよう津軽保健  
生協さんと連携して薬局における無料低  
額診療適用の問題や国民健康保険におけ  
る資格証明書の発行の問題などで自治体  
と交渉をもちました。しかしながら目に  
みえる形での成果は得られていません。  
引き続き粘り強く交渉してまいります。

事業展開関連では健生病院・クリニッ  
クが2017年秋の開設を目指して新築  
移転事業に着手しています。すでに基礎  
工事が始まっている状況です。それに伴  
い当社でも建設委員会を立ち上げ新薬局  
建設の議論を重ねてきました。薬局の基  
礎部分は決定間近です。課題を一つ一つ  
地道にクリアし、夢のある新薬局にし  
たいと思っています。

さて、この間、政府やマスコミを通じ  
て保険薬局バッシングが行われていま  
す。今春の診療報酬改定を皮切りに薬局  
にとっては厳しい時代が来ると予想して  
います。しかし、これらの情勢に過度に  
踊らされることなく真に患者様や地域住  
民に寄り添った「かかりつけ薬局」を目  
指して頑張っていく所存です。平和の問  
題や社会保障の充実のための運動は引き  
続き強力に推し進めていきます。とりわ  
け7月に予定されている参議院議員選挙  
では安倍自公連立政権NO!の意思表示  
をする絶好の機会と捉えて奮闘します。  
今年も誰でも安心して住み続けられるま  
ちづくりを目指して頑張っていきたいま  
しょう。



# 謹賀新年

各薬局長から新年のご挨拶



弘前調剤センター  
薬局長  
大川 誠也

あけましておめでとうございます。弘前調剤センターには昨年にも須藤雪絵薬剤師という期待の新人が1名入職し新たな出発となりました！が、9月には薬剤師の寿退社という喜ばしくも悲しい別れを経験しましたが、全員力を合わせ頑張りました。事務職では人事異動などもあり、大変な中ではありましたが試行錯誤して頑張ってくれました。

あけましておめでとうございます。弘前調剤センターでは昨年から医師の往診と一緒に往診取り組みを始め、これから求められるであろう薬局の新しい形に対応するべく一歩を踏み出しました。

セコンが動かないなどのアクシデントがありました。震災から4年が経ち、災害対策の危機意識が薄れてきていたので、今一度停電時などの対策の必要性を考えさせられました。居宅療養管理指導は引き続き30名の患者様に実施し、個人宅の契約も増えて、服薬支援やバイタルチェックなども行いました。関



藤代薬局  
薬局長  
相馬 渉

あけましておめでとうございます。昨年藤代薬局では停電や、レ

えました。ほとんどの方が新患のため、お薬手帳の普及、一包化の勧め、他科受診のチェック、新規薬品の登録や発注等、一時期は忙しかったものの6月以降は落ち着きました。

皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。



ファルマ浪岡薬局  
薬局長  
福士 隆政

皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

10月には、近くの整形外科医より他科受診（5科受診）の患者様の薬を管理してくれるように依頼が入り薬剤を全て薬局で預かる患者様や津軽医院と合同で気になる患者情報の共有の強

た。また複雑化する在宅業務での薬剤師サポート体制もスタートさせています。

今年度は調剤報酬改定があります。他の薬局長が書くと思いますが、調剤センターにとってプラスとなる材料はあまりなく、厳しい状況が訪れるとは思いますが、お互いに支え合い、尚且つ地域のかかりつけ薬局となれるよう頑張っていきたいと思っております。

7月には集団的自衛権行使容認を含む安保関連法案が可決され、大きな話題を呼びました。命を大切にされる医療者として私

地域に開かれた薬局をめざし、我々は薬剤師として、もつといるいろいろな情報発信していきます。処方箋がなくても気軽に相談に立ち寄れるような薬局が理想です。

今年は藤代薬局職員一同、協力し合って患者様が、健康で元気になれるよう業務に励みます。本年もよろしくお願いたします。

情勢では4月に青森県議会議員一般選挙、弘前市議会議員選挙、6月に青森県知事選挙が行われ私たちが目指す無差別平等の医療、平和民主主義、反原発を訴える候補の応援をします。

9月19日未明、安保関連法案が国会で採決されましたが、こ

あけましておめでとうございます。昨年1年を振り返りますと、4月には介護報酬の改定がありました。負担割合が増えた方や介護サービスを受けにくくなつた方もいらつしやるかもしれせん。今後さらに多くの方が介護サービスを受けにくくならな

あけましておめでとうございます。今年は調剤報酬改定と薬価の引き下げが有ります。これから詳細が見えてくると思いますが安倍政権は社会保障予算をさらに切り下げようとしています。無差別平等の医療、平和と民主主義を守るため、また1年共に頑張ります。

あけましておめでとうございます。昨年、安倍政権の暴走ぶりと同時に国民の政治的目覚めが起きた1年でした。平和や9条の問題で、ずっと地道にやってきた私たちの努力が実を結び、若者が戦争法阻止の運動をデモで引っぱり、若者と繋がりました。主権者として声を上げる運動が広がりました。

薬局としては、4月から24時間対応をしました。訪問居宅療養指導を軌道に乗せ、緊急時の遠方配達も含め20名の契約者に対応しました。医師の往診にも同行しました。2016年度からの実習受け入れ薬局の準備もしました。戦争法については、毎週火曜日に戦隊・桃レン



黒石薬局  
薬局長  
木村 匡宏

あけましておめでとうございます。昨年1年を振り返りますと、4月には介護報酬の改定がありました。負担割合が増えた方や介護サービスを受けにくくなつた方もいらつしやるかもしれせん。今後さらに多くの方が介護サービスを受けにくくならな

私たちは命を粗末にする戦争には断固反対です。戦争を予防するという視点から今後の政治には、さらに厳しい目を向けていかなければいけないと考えています。定期的に街頭でもアピールをしています。皆さんもお近くを通った際には耳を傾けていただければ嬉しく思います。

黒石薬局においては在庫管理システムを本格的に稼働できるようなり医療の安全面で大きく前進することができました。また、認知症や糖尿病、禁煙などに関する健康情報や訪問看護、デイサービスなどの地域の社会資源の情報発信を通して微力ながらも地域の健康づくりに

貢献できたのではないかと感じています。当薬局を利用してくださる方がどんどん増えてきており日々の業務は多忙ですが皆さんの笑顔や笑い声に癒され、温かい言葉に励まされています。本当にありがとうございます。

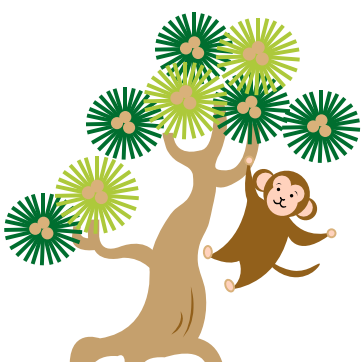


ファルマ 一ツ谷薬局  
薬局長  
津川 俊彦

あけましておめでとうございます。昨年、安倍政権の暴走ぶりと同時に国民の政治的目覚めが起きた1年でした。平和や9条の問題で、ずっと地道にやってきた私たちの努力が実を結び、若者が戦争法阻止の運動をデモで引っぱり、若者と繋がりました。主権者として声を上げる運動が広がりました。

最後に、今年の抱負です。今年にはサル年です。国民の話しを聞かない安倍政権が去るサル年にしたいものです。また、調剤報酬の改定の年です。スタッフ全員で知恵を出して飛躍の年にしましょう。

ジャヤーも加わり、隣接する診療所や地域の方々と一緒に戦争法廃止を訴えました。地域でのデモに参加して民主主義を実感しました。





# 全日本民医連教育委員長・ 教育担当者交流集会 in東京

弘前調剤センター 薬事課 課長 工藤 敏子

12月5日(土)～6日(日)にかけて「第41期全日本民医連 教育委員長教育担当者交流集会」が行われました。全国から134名、青森県からは10名が参加しました。以下報告され、その中で実感した思い



ファルマの報告をする工藤課長

戦争法が成立し、立憲主義が破壊され、戦後未曾有の非常事態に陥っている激突の情勢の中で「憲法を学ぶ大運動」が進められてきました。その中で学んだ多くの職員の共通の思いは、憲法と医療・介護は密接な関係にあることや無関係では済まされな

を述べます。戦争法が成立し、立憲主義が破壊され、戦後未曾有の非常事態に陥っている激突の情勢の中で「憲法を学ぶ大運動」が進められてきました。その中で学んだ多くの職員の共通の思いは、憲法と医療・介護は密接な関係にあることや無関係では済まされな

## 救命救急講習会を振り返って

ファルマ 一ツ谷薬局 主任 佐藤 真由美

11月10日、17日に弘前消防署の方をお招きして、心肺蘇生の手順とAED(自動体外式除細動器)の使い方を学習しました。人間の脳は呼吸が止まってから4～6分で低酸素による不可逆的な状態になってしまいます。2分以内に心肺蘇生が開始された場合の救命率は90%程度と高いですが、

4分では50%、5分では25%程度と、時間経過に比例して低くなるので、救急隊到着までの間に現場に居合わせた人による心肺蘇生が行われるかどうか救命率を大きく左右することになるといってもいいでしょう。意識がなく倒れている方を発見したら、119番をかけてもらう、AED

の中で自立し発達するという基本的な人間性を奪われているのだそうです。それに対抗するために、人間的な発達を促す民医連の職場教育を実践し発展させる必要があると強く思いました。教育の主戦場は職場です。職場責任者の「5つの大切」を確認しました。①職場づくりの夢をかたちに②学ぶ機会の保障③職場会議の開催・充実④自己学習、民医連新聞活用⑤管理者の集団化と団結。職責者が率先して学ぶことが求められています。リーダーが学びを怠ると職場の教育力は確実に低下するそうです。このことを肝に銘じて民医連綱領を実践する人づくりを、社内教育や県連教育委員会実践していきたいと思いました。

## 県連医療安全推進者研修会に参加して

弘前調剤センター 主任 葛西 孔明

12月5日、県連医療安全委員会主催の医療安全推進者研修会に参加しました。内容は「医療安全推進活動の進歩と課題」ということで、東京保健生協理事長の根岸京田先生よりご講演いただきました。報告と私の意見を交えていただきまず基本



講師の根岸理事長(右)

的に「人は誰でも間違える」ということです。果たして職場の規約、細かいルールはそのことを前提に作成したものでしょうか？どの職場でも見直すべき点はあるのではないのでしょうか？注意不足、記憶違い、ルール違反、そもそも違反の認識がない等のヒューマンファクターに対策を立てることは重要ですが、基本的に医療事故は組織事故であること

カルスキルが不足していたことで起こる事故の大きく2つに分かれます。そして事故の多くはノンテクニカルスキルの領域で起こっているといわれています。このことを意識しながら管理者中心に職員全体が積極的に意見を出し合い自分たちの職場を作っていくことが、より安全な医療を提供する鍵となり、そしてより良い職場になると確信しています。医療事故をゼロにするのは難しいですが近づけることは不可能ではありません。この報告が安全に対する意識を自身に問いかけるきっかけと意識の底上げになればうれしく思います。



人形を使って心臓マッサージをする佐藤薬剤師

た。私たちの勇気が命を救うことになることを、この学習会で学ぶことができました。

## 北海道・東北地協 2015年度 中堅薬剤師研修 in青森

弘前調剤センター 薬剤師 菊池 紀子

11月14日(土)・15日(日)の2日間にわたって、北海道・東北地協の2015年度中堅薬剤師研修が青森県観光物産館アスパムで開催されました。1日目は医療法人愛生館・小林記念病院の古田勝経褥瘡ケアセンター長による「科学的根拠に基づく褥瘡の薬物療法と薬剤師の介入」と題した講演と、褥瘡の症例検討・病態解析・実習が行われました。

2日目は大竹進氏による講演「原発と核燃サイクルをやめる！青森からの挑戦」と、薬剤師として原発問題にどう向き合うのか？をテーマとしたスモールグループディスカッションが行われました。



実習中の菊池薬剤師(左から2人目)

医療において薬剤師が大いに活躍出来る可能性を感じる事が出来ました。



# 県連社保大学習会

ファルマ浪岡薬局 主任補佐 田澤 由香里

青森市浪岡の中世の館で11月20日(金) 社保大学習会が開催され240名が参加しました。

「新段階の医療費抑制政策と地域包括ケアの課題」と題して佛教大学社会福祉学部教授の岡崎祐司氏より安倍政権の危険な社会保障改革についてお話がありました。政府は「皆保険」維持と言っているが医療保障のため社会保障ではないという点、「社会保障は互助である」にも関わらず

公費が投入されているという公費負担の否定的評価など、私たちの考える皆保険と安倍政権の考える皆保険とは意味が違ふということを感じました。また、医療費抑制改革として現状のレセプトデータから低い医療費水準の都道府県を「ベストプラクティス」とおき、高い都道府県は「不合理」な医療状況であるという認識

させ医療費抑制を図り「グットプラクティス」を目指すようにという安倍政権の考えは私たち医療人の考えとは相反するものです。健康の自己責任が宣伝され、医療・介護を成長戦略に位置づけて民間営



講演する岡崎祐司氏

利資本の参入と公的責任の放棄、結果、私たち国民に負担が課せられる世の中であってはいけないと確信をもつことができた学習会となりました。

## 地協事務管理者研修 in 仙台

弘前調剤センター 主任 葛西 祐一

11月21日(土) 22日に開催された地協事務管理者研修に参加しました。研修では、東北大学名誉教授の日野秀逸氏による「医療・介護福祉従事者と日本国憲法の立場」と、山形県民連の介護老人保健施設かけはし事務局長である井田智氏による「民医連

の経験をもつことが大きな役割だと思えます。今回研修に参加し、多くの事業所の管理者と話す機会は、私にとって大きな刺激となりました。この経験を日々の業務に活かして行きたいと思えます。

## 新シリーズ

# わたしのお気に入り

本部 主任 阿部千佳子

あまり物にこだわりのない私…。そして見た目よりも機能重視なので、ひとめぼれで物を買うことは絶対にありません。そんな私がこだわっていることは、本は基本的に文庫本でしか購入しないということです。

まず、文庫の良いところは持ち運びが軽く、読むときも手が疲れません。ちなみに私は寝る時に本は読みません。なぜかという夢中になり最後まで読み終わるまで寝られない上に、読んだ後も頭が冴えて寝られないからです。

また、収納するときにきれいに並べられることも大きな理由です。ハードカバーですと、本の高さがそろっていないので、何となく気持ちが悪いのです。文庫本だと大体高さが揃っているの、並べた時に非常に美しいのです。また、背表紙に書いてある番号で出版順にきれいに並べることができます。これは書店員だったころの名残で、順番に並んでない気持ちが悪いのです。

ただひとつだけ困ることが、ハードカバーで新刊が出されてから文庫本になるまで2年ほどかかることです。我慢できない時は先にハードカバーを購入して、あとから文庫本を購入しています。

ちなみに現在はまっている海外ドラマも、DVDはコンパクトBOXで購入しています。安価なのはもちろんですが、並べた時に揃っていて美しいからです。



ほんの一部の文庫本

がめざす地域包括ケアの課題と展望」の講演を聞いた上で、事前レポートを活用して2日間グループワークをしました。憲法の無知が根底にある自民党改憲草案を元に戦争法・社会保障改悪・財界優先が進められている中で、戦後憲法が生まれた背景から立憲主義とは何か?など幅広く憲法について学ぶことが出来ました。医療現場・生活現場・地域社会から憲法を広く守って行くためにも、憲法の視点に立った民医連職員の成長が期待されていることを明確にし、職場作りと職員育成に活かして



参加した葛西祐一主任

## ファルマ利用者委員会2014

### アンケート調査報告&介護者のお話を聞く会

11月4日(水)ファルマ会議室にて「2014アンケート調査報告&介護者のお話を聞く会」が開催され、多くの職員が参加しました。利用者委員でもある吉田聖子氏から実際にご家族の介護をされた経験と想いを聴くことができた大変貴重な機会でした。



介護者の思いをお話してくれた吉田聖子氏

## 津軽9条の会 戦争法廃止集会とパレード

11月15日(日)弘前駅前リンゴ広場にて「戦争法廃止集会とパレード」が行われました。今回の集会では本部鈴木主任がリレートークをしました。その後、ファルマランジャーと一緒にパレードをしました。



リレートークする鈴木主任

## ファルマ共済会親睦会

12月5日(土)菊富士にてファルマ共済会親睦会が開催されました。おいしい津軽の郷土料理を食べながら交流を深めました。



ビッグニュースとともに乾杯をした弘前調剤センター薬事課佐々木さん

## STOP秘密保護法市民集会・パレード

12月6日(日)弘前駅前リンゴ広場にて「STOP秘密保護法市民集会・パレード」が開催されました。大変寒い中でしたが、ファルマからは6名参加しました。



寒さに負けず参加したみなさん

## あずさわ福祉本舗見学

12月9日(水)~10日(木)東京・あずさわ福祉本舗へ高松常務と弘前調剤センター薬事課工藤課長が見学に行きました。当日は福祉用品を實際使わせてもらったり、様々なお話を聴いたりすることができました。



車椅子を実際に乗り説明を受ける高松常務

## NPT再検討会議報告会

12月16日(水)ファルマ会議室にて「NPT再検討会議報告会」が行われました。講師は今年NPT再検討会議に県連代表で参加された津軽保健組織部の平井佑典氏でした。当日は多くの職員が参加しました。



貴重な経験をわかりやすく説明してくれた平井氏